

※今月のみ受注の書目です。

日本史／キリスト教 ご担当者さま

キリシタン時代の良心問題

インド・日本・中国の「倫理」の足跡

(2022年10月下旬刊行予定)

浅見雅一（慶應義塾大学文学部教授）[著]

A5判上製／ 336頁 税込予価 5,500円 ISBN978-4-7664-2852-0 C3021

📌 ココに注目！

- ・イエズス会宣教師は異教の地で何をみたか。
- ・インド・日本・中国の史料を比較考量し、アジア布教史の実態に迫る。

大航海時代、イエズス会の布教事業は、インド・日本・中国へと進んでいった。その中で、インドの布教における基準が修正されながら日本に持ち込まれ、日本の基準が同様に修正されながら中国に持ち込まれることになった。

本書は、ヨーロッパと日本の公刊・未刊のキリシタン史料を渉猟し、「良心 conscientia」の問題を基軸としながら、その変化を解明していく。先行研究においてインドと日本の布教が比較されることはあったが、インド・日本・中国の三地域の布教を比較検討するのは、層の厚いキリシタン研究史で初の試みとなる。

対象 日本中世史またはキリシタン史を専攻する研究者

類書 高橋裕史『戦国日本のキリシタン布教論争』（勉誠出版）

📌 主要目次、注文書を裏面に掲載！ ぜひご確認ください！

【主要目次】

序説 良心問題とは何か

第一章 発見地の領有と異教徒の権利——ビトリア、グロティウス、フレイタスの議論

第二章 キリシタン時代の神学と良心問題

第三章 信仰と奴隷制——インドにおける奴隷に対する授洗論

第四章 フランシスコ・ロドリゲスの日本の婚姻問題決疑論

第五章 キリシタン大名大友宗麟をめぐる良心問題

第六章 イエズス会のインド史研究と日本書翰集の編纂
——布教情報の伝達と整理を中心として

第七章 「神学」に加えられた日本人の祖先崇拜
——ペドロ・ゴメス「講義要綱」からの考察

第八章 キリシタン時代の良心問題に関する手引書について
——マルティン・デ・アスピルクエタとその周辺

第九章 殉教の論理と潜伏の論理

第一〇章 キリシタン教会の殉教録と聖人伝——ヨーロッパから日本・中国へ

第十一章 艾儒略「滌罪正規」 解題

結論

 **ご注文は FAX で！ 03 - 3451 - 3124** 

番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
新刊委託		浅見雅一 著 キリシタン時代の良心問題 —インド・日本・中国の「倫理」の足跡 ISBN978-4-7664-2852-0 C3021	5,500 円	★★

★1つで「500部」を表します